

経営比較分析表（令和元年度決算）

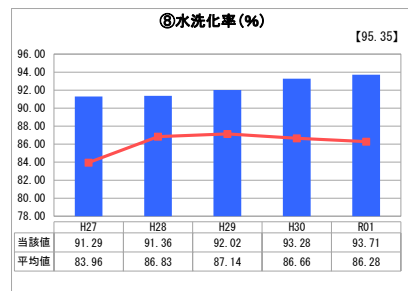
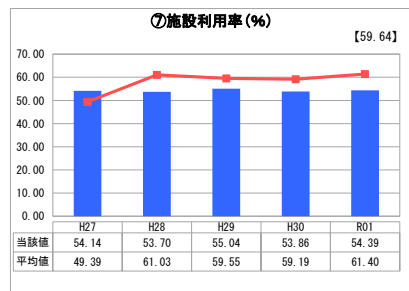
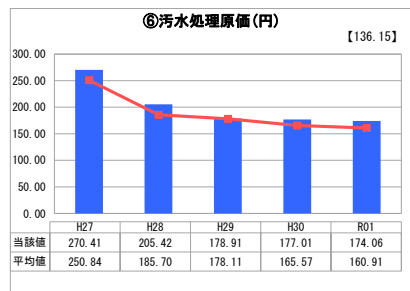
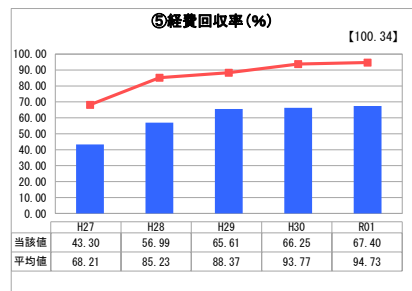
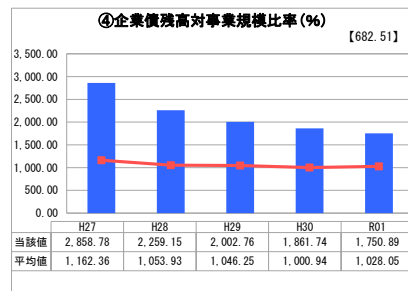
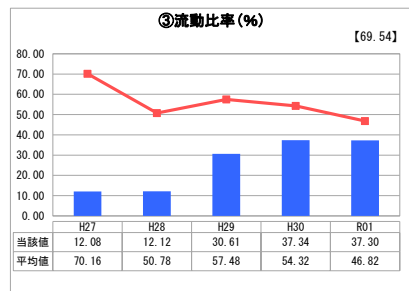
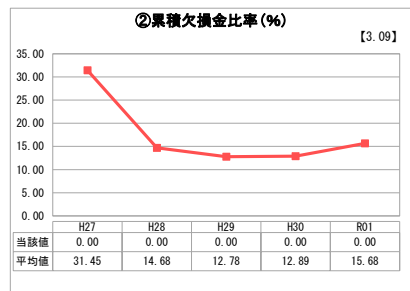
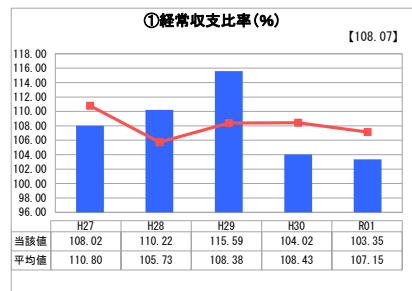
石川県 かほく市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bd2	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金 (円)
-	65.59	86.69	86.30	2,442

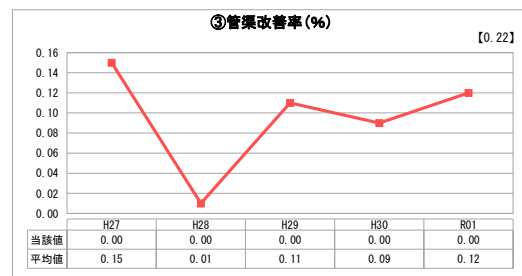
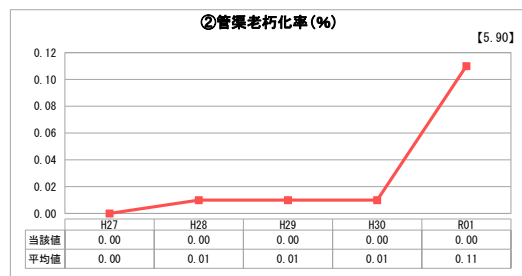
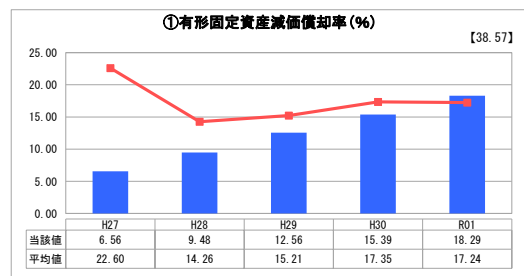
人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
35,618	64.44	552.73
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km ²)	処理区域内人口密度 (人/km ²)
30,838	14.14	2,180.91

グラフ凡例	
■	当該団体値 (当該値)
—	類似団体平均値 (平均値)
□	令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率については黒字を示す100%以上となっているが、営業収支については赤字であり、使用料以外の収入に依存している状況である。経費回収率及び流動比率も平均に比べて低く、収入不足分を一般会計からの繰入に頼っており、今後は使用料見直しの検討等が必要となる。
事業実施の際は、国庫補助金等の財源確保に努めているが、不足分については一般会計からの繰入金により経営安定を図っている状況である。

2. 老朽化の状況について

管渠については、現在のところ耐用年数を超過したものはないが、カメラ調査による診断などを行い適正管理を行っている。施設については、「かほく市下水道ストックマネジメント計画」に基づき順次工事を実施しており、老朽化対策および施設利用率の向上を図ることを計画している。
なお、工事については国庫補助金等の財源確保に努めている。

全体総括

処理施設及び機械設備の更新のため、更なる費用増大が見込まれているが、企業価値についてはピークを過ぎているため企業価値については減少していく。今後は長期的計画の内容精査を行い、工事財源の確保に努める必要がある。また、経費回収率の向上のため、使用料改定の検討も必要となる。
今後は、下水道設備全体に関してストックマネジメント計画により施設の統廃合や老朽化対策など投資計画の見直しを行い、より一層の経営改善を図りたい。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。